

令和五年度 一般選抜入学試験（前期）

小論文

注意事項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 2 この問題冊子は表紙を含めないで2ページあります。解答用紙は3枚です。下書き用紙は1枚あります。
試験中に、問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
- 3 試験開始の合図があったら、まず、すべての解答用紙の所定欄に受験番号を記入してください。
- 4 解答はすべて解答用紙のそれぞれの解答欄に記入してください。
- 5 試験時間は90分です。
- 6 解答用紙は記入の有無にかかわらず、持ち帰ってはいけません。
- 7 この問題冊子と下書き用紙は持ち帰ってください。

次の文章を読んで、問いに答えなさい。

人との関わりの中に、好き嫌いはつきものです。ウマが I というのもあるでしょう。

できれば嫌いな人とはつき合いたくない。好きな人とだけつき合っていきたい。そう願う人も多いかと思いますが、では好きな人とだけつき合っていれば悩みはなくなるのでしょうか。

それは違います。好きな人だからこそ悩むこともある。どうして自分のことを分かってくれないのか。いつもは分かってくれるのに、なぜ分からなくなってしまったのか。

好きな相手だからこそ、その悩みが深くなったりもします。

要するに、心の好き嫌いとは別のあるところにあるものなのです。

さてこの好き嫌いですが、いったいどこから生まれてくるのでしょうか。その多くは、実は先入観によって生み出されているのです。

たとえば過去につき合っていた好きだった人。その人とどこかが似ていれば好きになつてしまう。過去に喧嘩ばかりしていた人に似ていれば、きつとこの人も同じだろうと嫌いになつてしまう。あるいは①シユウイの噂話などにも左右されます。

「あの人はみんなに嫌われている」ということが耳に入るだけで、最初からその人のことを拒否してしまう。自分で確かめることもせず、誰かの無責任な噂話に影響されている。

つまり、ほとんどの好き嫌いは、つき合う前にでき上がっているのです。

それは、とてももったいないことだと私は思います。

たとえば、あなたのお隣さんが、誰かの悪口を言ったとします。「あの人とはつき合わないほうがいいですよ」と。その言葉を鵠呑みにして、その人を敬遠する。

それでは聞きます。どうしてあなたは、そのお隣さんのことをそれほど信頼するのでしょうか。お隣さんとその人との関係は、実は、あなたには何の関係もないことです。

そんな噂話にとらわれることは、あなた自身の人間関係を他人にゆだねることと同じこと。それはあなたの人間関係ではなく、他人の人間関係を生きるということだと思います。

まずは②ヨケイな先入観を捨てて、自分自身の心で人を見ることです。

他人の噂話に影響されてつき合いを変えるような人に、心からの友人はできないと私は思っています。

次に嫌いな人について考えてみましょう。

あなたが嫌いだと思っている人。その原因はどこにあるのでしょうか。その人のどこが嫌いなのでしょうか。

これにはいろんな答えが返ってきます。「声が嫌い」「性格が合わない」「見た目が嫌い」、はては「嫌いなタイプ」などなど。

この原因を客観的に見てください。おそらくはそのどれもが感情的なものに過ぎません。相手にしてみれば、どうしようもないことです。

「声が嫌い」と言われても、生まれつきの声を変えるわけにはいきません。その人のせい

でもなく、あなたの心が勝手に決めつけているだけのことです。

こうした決めつけは人間関係の幅を狭くしていきます。人間関係の幅を狭めることは、すなわち人生の幅を狭めることにもつながってくる。それはとても損なことです。

何もその人と結婚するわけでもありません。一生つき合っていくこともないでしょう。関わっている時間は、人生の中のほんの少しです。

であるならば、感情的に決めつけるのではなく、関わってみることです。

深くつき合うことを求めるから、人は③シンチヨウになる。あまり深く考えずに薄らとした関係でもいいのです。

もつと言うなら、好き嫌いという心を捨ててもいい。好きでもなければ嫌いでもない。どちらかと言うと少し好き。ちよつとだけ嫌いなどころがある。それくらい曖昧な位置づけをすることです。

どちらか一方に決めようとするから、そこに悩みが生まれてくる。どうせ、決めることのできないことなのですから、あえてどつちつかずの状態で置いておけばいいのではないのでしょうか。

心の中で好き嫌いを生み出すことを止めてしまえばいいのです。

そんな心持があれば、ずいぶん人づき合いの悩みは解消されるものです。

ただし、どうしても好きになれない人もいるでしょう。理屈抜きに好きになれない苦手な人もいるものです。そんな人に出会ったときには、あえて嫌いになる必要もありません。ただ放っておけばいい。

あなたがどうしても好きになれないという気持ちは、不思議と相手にも伝わるものです。

いずれは④ソエンになつていく。自然につき合いが消滅していくものです。そのときを待つていればいいだけです。悪戯に解消しようとするから、そこにまた悩みが生まれてくるのです。

(折野俊明『比べず、とらわれず、生きる』より)

-2-

問一 I に入る語句として最も適当なものを次のア～オから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア・鳴く鳴かない イ・駆ける駆けない ウ・向く向かない
エ・合う合わない オ・引く引かない

問二 傍線部①～④のカタカナを漢字になおしなさい。

問三 この文章を二〇〇字以内で要約しなさい。

問四 二重線部はどういうことですか、三〇〇字以内で説明しなさい。

問五 波線部の筆者の見解についてあなたはどのように思いますか。自分の体験や具体例をもとに四〇〇字以内で述べなさい。